

# 平成29年度 ファシリテーター交流会

日 時：平成29年5月20日（土曜日）13：30～16：30

場 所：津山市役所東庁舎

参加者：親プロファシリテーター、家庭教育支援に関わりのある方等 40名



《ワーク研修》「大切な子ども達をメディア漬けにしないために」  
《講 話》「子どもの発達段階をふまえた適切な関わり」

◆NPO法人子ども達の環境を考えるひこうせん

代表理事 赤迫 康代 氏

副代表理事 小谷 聖子 氏



## 《ワーク研修》大切な子ども達をメディア漬けにしないために

電子メディアが子どもの身体や心へ及ぼす影響は多大である。子どもは本物に出会う豊かな体験や現実の人との関わりから様々なことを学ぶ。この積み重ねが「生きる力」につながっているといえる。しかしながら、メディア接触が増えている現代では、以前に比べ、子ども達に豊かな体験が十分保障されていないように感じる。子どもの育ちの基となる基本的な生活習慣の見直しを図りながら、メディアとの付き合い方を考えていくことが必要となっている。このことは子どもの豊かな育ちを応援していく大人の大切な役目の一つである。

## 《講話》子どもの発達段階をふまえた適切な関わり

子どもの心の発達のみちすじ

乳児期 〈安心 たっぴりと愛されて基本的信頼関係を築く〉



幼児期 〈自律 自分で自分をコントロールする力をつける〉



児童期 〈積極性 自発的な探求心・好奇心を育てる〉



学童期 〈勤勉性 友だちと教えあい、共感する力を身につける〉



思春期 〈自我の確立 自分を客観的に見て、将来を考える〉



成人としての自立

※赤迫氏交流会資料より抜粋

子どもの心には発達のみちすじがあり、その発達段階を大切にしたい関わりが必要。その時期の子どもの特徴を受け止めながら、必要な関わりを積み重ねていくことで、段階的に社会性が育っていく。



## 《情報交換 ①他地区の方々との交流 ②同地区の方々との交流》

○参加者自身の日々の支援について、日常の活動や思い等を振り返り、交流しました。前半は、市町村の枠を越えたグループで、後半は同じエリアでのグループで、様々な方との交流の場を持ちました。

どのグループでも活発な話し合いが行われ、時折、笑いもおこる和気あいあいとした雰囲気の情報交換となりました。



## 《参加者の声》

○メディアに関しての素晴らしい研修をさせていただきました。「脳は出会いで育つ」という言葉、心に大切に受け止めていきます。これからの家庭教育支援活動に役立てていきたいです。

○「子どもの発達段階を踏まえた関わり」という内容での講話、とても興味深く聞かせていただき、新たに子育ての大切さを実感することができました。

○同じ地域でも情報交流する機会があまりなかったので、よかったです。

○他地区の取組を交流し合うことができ、有意義な時間でした。思いは一緒ですね。

○地域の子どもや親のために多くの方がパワフルに活動されていることに感動しました。他地域のファシリテーターの方から聞いた取組を参考にしたいと思います。



ぱっちり！モグモグ  
生活リズム向上  
マスコットキャラクター